

運輸新聞

2017年10月17日(火)



会の様子
化にも取り組
んでいる。29
歳以下のドラ
イバー比率向
上(5%→10
%, 女性ド
ライバー比率

都内で第25回SRお客様交流会を開催した。2001年からセイフティレコードナー導入しているアサヒロジスティクス(本社=さいたま市)の安全への取り組みを檜木稔専務が講演。

安全運転への意識が高まり、事故が激減した。現在は最新機種の「SRCconnect」を活用するなどして、アルコールチェックカードとともに運動させ安全対策の徹底化を図っている。今年3月には、教習コースを兼

アサヒロジが講演 5テーマで意見交換 データ・ツク

一タ・
ツク

5テーマで意見交換

向上（2・5%→10%）などの成果が出ている。「アルコール検知器と点呼システム連動による点呼業務の効率化」（サントリーテクノ）も紹介。分科会では、「どうす

率アップで生き残る」「失敗しない人材採用・定着の取組」「IT機器でさらなる安全」「SRの有効活用でプラスワン」の5つのテーマに各出席者は別れ、活発な意見交換を行った。